

## 政治経済研究所年報第23号： 表紙,目次,執筆者一覧,執筆要綱,編集後記,奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 武蔵野大学政治経済研究所 公開日: 2024-03-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000154">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000154</a>

武蔵野大学  
政治経済  
研究所年報

第23号  
2023

**政治經濟研究所年報** 第 23 号

**2023**

**武蔵野大学政治經濟研究所**

## 目 次

理論的思考と現実感覚による住宅・都市・地域政策 .....	瀬 古 美 喜 1
戦後日本の政治思想史学は何を問題にしていたのか？ — これまでの授業を振り返って受け継ぐべきことを考える — .....	中 村 孝 文 23
メディア、公衆からみた米大統領 .....	浅 川 公 紀 79
シャドー・ドケットと連邦最高裁の正当性と政治化 .....	大 澤 秀 介 117
天安門事件で出現した偽旗工作疑惑の一考察 .....	加 藤 青 延 147
実証主義的な政治学の「社会問題」とその克服 — 批判的实在論の観点から — .....	高 橋 正 樹 163
イギリス 1909 年住宅・都市計画等法の実施過程と評価 — 第二部「都市計画」を中心に — .....	馬 場 哲 207

無電柱化の概要及び施策の変遷 — 近年の無電柱化の動向	平 湯 直 子	247
〈一带一路構想〉における秩序概念の基礎 — 井筒俊彦〈東洋哲学〉をめぐって—	鈴 木 規 夫	283
「e-fuel」はモビリティー脱炭素化の切り札となるか？	西 脇 文 男	305
大塚久雄と朱紹文 — 中国における比較経済史学の受容—	齋 藤 英 里 孫 宏 程	331
ミドルパワーという概念から見た日本の対アフリカ外交	中 村 宏 毅	357
執筆者一覧		377
『武蔵野大学 政治経済研究所年報』執筆要綱		378
編集委員		381
編集後記		382

## 執筆者一覧

- 瀬古 美喜 …………… 本研究所客員研究員、本学名誉教授、慶應義塾大学名誉教授
- 中村 孝文 …………… 本研究所客員研究員、本学名誉教授
- 浅川 公紀 …………… 本研究所客員研究員、筑波学院大学名誉教授
- 大澤 秀介 …………… 本研究所客員研究員、本学客員教授、国士舘大学特任教授、慶應義塾大学名誉教授
- 加藤 青延 …………… 本研究所研究員、本学教授
- 高橋 正樹 …………… 本研究所研究員、本学教授
- 馬場 哲 …………… 本研究所研究員、本学教授
- 平湯 直子 …………… 本研究所研究員、本学教授
- 鈴木 規夫 …………… 本研究所客員研究員、愛知大学教授
- 西脇 文男 …………… 本研究所客員研究員、本学客員教授
- 齋藤 英里 …………… 本研究所研究員、本学教授
- 孫 宏程 …………… 神戸大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 中村 宏毅 …………… 本研究所研究員、本学准教授

# 『武蔵野大学 政治経済研究所年報』執筆要綱

令和元年9月19日改訂

## 1 執筆資格

武蔵野大学政治経済研究所員および『武蔵野大学 政治経済研究所年報』編集委員会が認めた者。

## 2 原稿内容

- (1) 内容は政治学、経済学およびその周辺領域の研究（論文・研究ノート・書評・資料紹介等）とする。
- (2) 使用できる言語は、日本語または英語とする。
- (3) 応募できる研究（論文・研究ノート・書評・資料紹介等）は未発表のものに限る。

## 3 原稿の形式・分量

- (1) 原稿は横書きとし、原則としてマイクロソフト社のワード形式で保存された電子ファイルで提出することとするが、その他のワープロソフトウエアでも可とする。原稿提出に際し、執筆者は、ワープロソフト名および保存形式を明記すること。
- (2) 用紙サイズをA4とし、以下の様式で電子ファイルを作成すること。
  - ① 和文と英文の両方で表記した論文タイトルと氏名を記載する「表紙」を付けること。
  - ② 本文および注は1行40字1ページ30行とする。
  - ③ 注は通し番号にして文末にまとめる。
- (3) 見出しは、大見出し（アラビア数字全角1,2…）、中見出し（全角（1）、（2）…）を用いる。必要な場合にはさらに小さな見出しをつけることができるが、「章」、「節」、「項」などは使用しない。
- (4) 原稿の分量は、論文、資料紹介については、日本語の場合、原則として28,000字以内（注、参考文献、図表を含む）とする。研究ノートについては、18,000字以内、書評については3,000字以内とすることを原則とする。なお、半角英数字は2分の1字と換算する。また、英語の場合は、12,000語（words）以内（注、参考文献、図表を含む）とする。
- (5) 図や表を使用する場合、図や表の占めるスペースを字数換算して、制限字数を計算すること。
- (6) 句読点、「」（ ）は全角のものを使用する。

- (7) 原稿は、電子ファイルに保存し、『武蔵野大学 政治経済研究所年報』編集委員会（メールアドレス）に添付ファイルとして送信するか、あるいはCD-ROM等の電子記録媒体に電子ファイルを保存して編集委員会宛に郵送すること。電子メールにて送信する場合は、メールの件名（Subject）には「武蔵野大学 政治経済研究所年報論文」と記入すること。
- (8) 注は文末に、1、2…と付す。
- (9) 引用・参考文献の示し方は原則として以下の通りとする。ただし、各研究分野に則した文献引用方法等がある場合にはそれに従って示すことができることとする。
- ① 洋書単行本の場合  
Berlin, I. *Fathers and Children*, Oxford University Press, 1972, pp.30-32.  
(小池銈訳『父と子』みすず書房、1976年、56頁)。
  - ② 洋雑誌論文の場合  
Schickler, E., Institutional Change in the House of Representatives, 1867-1998, in *American Political Science Review*, Vol. 94, No. 2, June 2000, p.287.
  - ③ 和書単行本の場合  
丸山真男『現代政治の思想と行動』第二版、未来社、1964年、140頁。
  - ④ 和雑誌論文の場合  
坂野潤治「日本近代史の中の交詢社私擬憲法案」、『近代日本研究』22号、慶應義塾福沢研究センター、2005年、18頁。
  - ⑤ その他  
その他、各研究分野の文献引用方法に従う。
- 4 校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめ、校正段階での新たな加筆・修正は認めない。

#### 5 原稿送付先

〒135 - 8181 東京都江東区有明三丁目3番3号

武蔵野大学政治経済研究所

『武蔵野大学 政治経済研究所年報』編集委員会

庶務担当：学部事務課

TEL 03-5530-7730（直通）

FAX 03-5530-3812

E-mail : seikeken@musashino-u.ac.jp

## 6 倫理規定

投稿論文の執筆に際しては他者の著作権等の侵害、名誉毀損その他の問題を生じないように十分に配慮すること。なお、万一『武蔵野大学 政治経済研究所年報』に掲載された執筆内容が前記の問題を生ぜしめたと認められた場合、執筆者がその一切の責任を負うものとする。

『武蔵野大学政治経済研究所年報』編集委員

委員長 本研究所長 馬場 哲

委員 本研究所運営委員 後藤 新

委員 本研究所運営委員 平湯 直子

委員 本研究所庶務 下條 慎一

委員 本研究所庶務 小坂 賢太

## 編集後記

武蔵野大学政治経済研究所年報第23号をお届けします。新型コロナウイルスの感染拡大もようやく収束し、2023年5月より5類感染症に移行したことにより、大学もほぼ平常に戻りました。学生の感染報告もなくなり、教員の外国出張も増えていて、以前と大体同じ活動ができるようになったと感じております。政治経済研究所の活動も、昨年度は原則としてオンラインで行われましたが、今年度はハイブリッド方式を交えつつ、原則対面に移行しています。

今年は研究所関係の異動がやや多く、3月に瀬古美喜教授、中園和仁教授、中村孝文教授が退職されたあと、4月に一條義治教授、沓澤隆司教授、西崎健司教授、渡辺恵子教授が新たに着任され、陣容が大きく変わりました。このため、今年度2回開催されたフォーラムの報告は新任の先生方にお願ひしました。その概要については、『政治経済研究所通信』をご覧くださいただければと思います。

さて、年報第23号の内容ですが、瀬古名誉教授と中村名誉教授の最終講義録、論文9本、研究ノート1本を収めることができました。米国、中国、環境、都市といったアクチュアルなテーマだけでなく、学問の方法論や国際的伝播に関わる論稿もあり、いつもながら多彩な内容から多くを学ぶことができます。当面は年1回の刊行となりますが、投稿数が増えるようであれば回数を増やすことも考えられます。紀要論文については、昨年も書きましたように、著者の見識と責任に委ねざるをえない面があり、どのようにレベルを確保するかという課題は残りますが、紀要が貴重な研究成果の発表の場であることはたしかですので、引き続き積極的なご投稿をお願いいたします。

なお、庶務担当の下條慎一研究員には入念な編集作業をしていただきました。記して謝意を表する次第です。

2024年2月

武蔵野大学政治経済研究所長 馬場 哲

武蔵野大学政治経済研究所年報

No.23

二〇二四年二月二十八日 発行

編集・発行

武蔵野大学政治経済研究所

東京都江東区有明三―三―三

電話 〇三―五五三〇―七七三〇

FAX 〇三―五五三〇―三八二二

制作 株式会社 文 伸

東京都三鷹市上連雀一―二―一七

電話 〇四―二二一六〇―二二二一

FAX 〇四―二二一六〇―二二〇〇

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

MUSASHINO UNIVERSITY

Institute of Political Science and Economics

Housing, Urban and Regional Policies through Theoretical Thinking  
and a Sense of Reality

Miki Seko

What is the Matter in Studies on History of Political Thought in Postwar  
Japan ?

Takafumi Nakamura

US Presidency from the Media and Public Perspective

Koki Asakawa

The Shadow Docket and the Legitimacy and Politicalization of the  
U.S. Supreme Court

Hideyuki Osawa

A Study of Suspicion of False Flag Operations Appeared in the Tiananmen  
Square Incident

Harunobu Kato

“Problem of Society” in Positivist Political Science and its Solution:  
From Positivism to Critical Realism

Masaki Takahashi

The Enforcement and Evaluation of British Housing and Town Planning, etc.  
Act, 1909, focusing on Part II. Town Planning

Satoshi Baba

Overview and Transition of Policy about the Undergrounding and Utility  
Pole Removal Projects in Recent Years

Naoko Hirayu

The Foundations of the Concept of Order in the ‘One Belt, One Road  
Initiative’ :

Norio Suzuki

“E-Fuel”, the Key to Decarbonizing Mobility

Fumio Nishiwaki

Otuka Hisao and Zhu Shaowen: Reception of Comparative Economic  
History in China

Eiri Saito

HongChen Sun

‘Japan’s Diplomacy toward Africa and the Concept of Middle Power

Hiroki Nakamura